



PRESS RELEASE

2026年1月19日

Bison energy 株式会社

Bison energy、I Squared Capitalへの オーストラリアおよびニュージーランドポートフォリオの売却を完了

Bison energy 株式会社（本社：東京都中央区日本橋/代表：張恒波）は、同社の資本回転を重視した投資戦略および地域別ポートフォリオ最適化の一環として、オーストラリアおよびニュージーランド（以下、ANZ 地域）における再生可能エネルギー開発ポートフォリオを、グローバル・インフラ投資会社である I Squared Capital に売却したことをお知らせします。

本取引は、これまで日本において協業関係を築いてきた Bison energy と I Squared Capital との戦略的パートナーシップを、さらに深化させるものです。今回、その協業が ANZ 地域へと拡大したことは、Bison energy の開発実績に対する I Squared Capital の高い信頼を示すものであり、同社がグローバルなインフラ投資家にとって再現性の高い開発プラットフォームを構築できる企業であることを裏付けています。

Bison energy は、ANZ 地域において、太陽光発電、蓄電池エネルギー貯蔵システム（BESS）、およびハイブリッド型再生可能エネルギー案件から成る、多様かつ拡張性の高い開発パイプラインを構築してきました。本ポートフォリオは、複数の開発地点にまたがる約 2GW 規模の開発資産で構成されており、長期的な機関投資資本の支援を受ける新たなプラットフォームへと移行し、今後の開発・実行フェーズへと進められます。

本取引は、Bison energy が長年にわたり創出してきた開発価値を適切に実現した成果でもあります。同社は ANZ 地域において、強固なプロジェクト基盤、規制対応の枠組み、ならびに地域ステークホルダーとの関係を構築しており、専業インフラオーナーのもとで効率的なスケールアップが可能な状態を整えてきました。

Bison energy CEO 張恒波は、次のように述べています。

「本取引は、当社の開発主導型投資モデルの強みと、グローバルなインフラ資本と大規模に連携できる能力を示すものです。I Squared Capital との協業は、日本からオーストラリア、ニュージーランドへと発展してきました。本ポートフォリオは、長期保有を前提とした新たなオーナーのもとで、今後も着実に成長していくと確信しています。Bison energy は、今後も中核市場における新たな成長機会へ、資本および経営資源を再配分していきます。」



PRESS RELEASE

Bison energy は今後も、規律ある成長方針のもと、日本、欧州、その他の国際市場において、太陽光、蓄電池、風力、ならびに統合型クリーンエネルギーインフラを中心とした再生可能エネルギー開発を推進してまいります。

【I Squared Capitalについて】

I Squared Capital は、約 500 億米ドルの運用資産を有する世界有数のグローバル・インフラ投資会社です。世界中の人々に不可欠なサービスを提供するインフラ事業の構築・成長を支援しており、エネルギー、公益事業、デジタルインフラ、輸送、環境・社会インフラなどの分野で、70 カ国以上にわたり 90 社超のポートフォリオ企業を保有しています。本社はマイアミにあり、アブダビ、ロンドン、ミュンヘン、ニューデリー、サンパウロ、シンガポール、シドニー、台北などに拠点を構え、300 名以上の専門家が在籍しています。

【Bison energy 株式会社について】

Bison energy は 2016 年設立の国際的な再生可能エネルギー開発・投資会社で、持続可能かつ信頼性の高い、拡張可能なクリーンエネルギーソリューションの提供をグローバルに展開しています。日本、オーストラリア、ニュージーランド、欧州、米国において豊富な実績を有し、太陽光発電、蓄電池エネルギー貯蔵システム（BESS）、風力発電、統合型再生可能エネルギーインフラを主な事業領域としています。

同社は、案件の創出・開発から、EPC マネジメント、アセットマネジメント、運営に至るまで、プロジェクトライフサイクル全体をカバーする統合型再生可能エネルギープラットフォームとして事業を展開しています。設立以来、再生可能エネルギーおよびハイブリッド型エネルギープロジェクトのパイプラインを着実に拡大し、低炭素社会への移行を支援するとともに、投資家およびステークホルダーに対する長期的な価値創出に取り組んでいます。